

効率性と有効性の高いコンプライアンス態勢構築の着眼点

～ 有効な内部監査手法を含めて ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2017年 6月 1日(木) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《ご参加頂きたい方》

コンプライアンス部門、法務部門、総務・人事部門、監査部門等の関連部門で、コンプライアンス態勢の整備、推進を担当されている皆様

講師

東京国際コンサルティング(株) 代表取締役 青木茂幸氏
(一般社団法人コンプライアンス推進機構 代表理事)



講師紹介

事業法人、金融機関、官公庁などこれまでに350を超えるお客様に、内部統制、規制対応、コンプライアンス態勢高度化、内部監査機能高度化等に関するサービスを統括。三菱信託銀行(在籍中、経済企画庁調査局出向)、国際的監査法人KPMGグループのコンサルティングファームを経て現職。大手共済団体コンプライアンス委員会外部委員。東京証券取引所ほか、地方銀行協会、日本証券業協会、損害保険協会等での講演多数。公認不正検査士(CFE)/IIA公認リスク管理監査人(CRMA)

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会HPからもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

171127-0303 効率性と有効性の高いコンプライアンス態勢構築の着眼点			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いいたします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

・プログラム・

1 今見直すべきコンプライアンス態勢の現状

- (1) コンプライアンス態勢・内部統制の現状と課題
 - ・今コンプライアンス推進システムを俯瞰して見る
 - ・なぜ必要性や実益が浸透しないのか?
 - ・推進機能(経営陣の意識、資源配分、業務内容)の弱さとは?
- (2) 本質的なコンプライアンスマネジメントサイクルの確立
 - ・現代社会の特質と倫理コンプライアンスの必然性
 - ・企業への「信頼」の蓄積と崩壊のインパクトとは?
 - ・お客様視点と企業倫理を核としたコンプライアンス態勢の確立
 - ・コンプライアンス・内部統制において「効率性」が重要な理由とは?

2 効率性・有効性の高めるコンプライアンス態勢作りの着眼点

- (1) 基本理念・倫理的価値観の浸透(実益、動機付け)
 - ・倫理意識とマナー教育の再認識
- (2) 組織・体制の機能検証
 - ・コンプライアンス統括部署の本来の仕事とは?
 - ・各部署のコンプライアンス責任者の機能化と評価システム導入
 - ・経営者の理解とコミットメントを高める方策とは(成果、数字、提言)?
- (3) 倫理マネジメントプロセスの検証
 - ・内規、通達、マニュアル等の整理・簡素化
 - ・日常業務に組み込まれたコンプライアンス教育
 - 職場主体の推進活動(内容、定例化)
 - 職責分離の仕組みづくり
 - ・「コンプライアンスの取組」を人事評価に組み込むこと
- (4) 教育システムの見直し
 - ・内容、頻度、名称等
 - ・管理職層への教育のあり方

3 コンプライアンス態勢を高度化するための内部監査

- 企業倫理の定着と実践を目的とした内部統制を評価すること
- ・手続の準拠性チェックからコンプライアンス態勢の検証へ
 - ・コンプライアンス態勢の有効性(仕組みと機能)
 - ・発見事象と改善提言事項の峻別

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。